

令和8年度 第2回 学校運営協議会 議事録

1 期 日 令和8年9月26日(土) 15:30~15:57

2 場 所 金ヶ崎町中央生涯教育センター 第1会議室

3 出席者(敬称略)

吉田 潤 小原 明男 小原 拓也 有住 龍星

千葉 美春 中野 俊一 照井真由美 後藤 裕介 千葉 一弘(書記)

4 次 第

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

(3) 会長あいさつ

(4) 協議

(5) 意見交換

(6) その他

(7) 閉会のことば

5 概要

(1) 校長あいさつ

- ・青陵祭(8月28・29日開催)の開催報告、およびPTA(飲食販売)・PTAと同窓会(流しそうめん企画)の協力に対する感謝。
- ・部活動の活躍報告(陸上競技部女子やり投げのインターハイ出場および国体東北大会への岩手県代表出場)。
- ・「小さな親切運動」表彰の受章報告と、日頃の地域支援に対する感謝・継続的支援の要請。

(2) 会長あいさつ(小澤会長欠席のため、吉田副会長があいさつ)

- ・青陵祭でのPTA・同窓会の取り組みに対する振り返りと盛り上がりへの感謝。
- ・卒業を迎える3年生に向け、全員が集まる機会や最後の記念行事を企画・実施したい旨の提案・意向(具体的な内容は検討中)。
- ・生徒に「金ヶ崎高校に入学して良かった」と感じてもらえる取り組みを最後まで支援したい。

(3) 協議

■令和10年度水沢高校・金ヶ崎高校統合について

- ・校長より水沢高校との統合(年次統合)決定および今後のスケジュールについての報告。

- ◆ 8月26日に水沢高校で統合検討会議を開催。本校からは小澤会長、吉田PTA会長、小野寺同窓会長にもご出席いただいた。金ヶ崎高校の在校生が金ヶ崎高校を卒業する年次統合を望む意見がほとんどであった。県教委が意見を持ち帰り、検討し最終決定となった。
- ◆ 令和9年度(来年度)入学生が最後の募集(単学年設置)となり、当該生徒が卒業する令和11年度末をもって本校は閉校となる(年次統合)。
- ◆ 閉校後の校舎には杜陵高校が移転予定(通信制は令和10年度、定時制は令和12年度移転)。
- ◆ 杜陵高校内に併設予定の「学びの多様化学校」については令和10年度設置を目指し県・国と協議中である旨の説明。

【委員】

・最後の学年は杜陵高校と被るのではないかな？

→通信制が被るが、スクーリングのある日は日曜日であるため、ほぼない。学びの多様化学校も被るが、今検討しているのは、多様化学校は一旦セミナーハウスを使う形で検討されている。金ヶ崎高校の生徒がいなくなったら校舎に移る方向で検討している。これは県だけの問題ではなく、国の承認も得なければいけないので確定ではない。

【委員】

・最後の年度は来年新しく入る生徒だけが、部活動はどうなるのかな？

→希望する生徒でやれる範囲でやるしかない。団体競技では、現在もだが、学校を超えての合同チームは増えている。個人競技であれば、実施できる環境づくりはする。

・新入生がたくさん入れればいいが、統合することで敬遠する人も増えるのかもしれない。中学校に向けて学校紹介は実施しているのか。

→中間発表会の以前にしか説明会は実施していない。統合については秋ごろに正式発表がある、ということ伝えてる。

【委員】

・以前、今の1年生の親御さんと話すことがあったが、統合するであろうということが分かっているもやっぱり行かせたい、行きたいという希望があったようだ。具体的な理由を聞いたが、人数が少ない分、密に先生と接することができるとか、水沢高校に行きたいけどそこまで行くとちょっとキツいなってというような声をきく。

【委員】

・地元の高校に通いたいという生徒もいるし、コンパクトな学校で密に勉強したいという生徒もいる。そういうところを中学校説明会で強くアピールして、最後にたくさん入学してもらえると嬉しい。

→今回の中学校での説明会でも、コンパクトスクールを売りに、探究にも力を入れている、ということアピールしている。

【委員】

・「学びの多様化学校」とはどのような学校なのか？

→不登校だった生徒が通いやすい学校である。

■その他協議題 → なし。

(4) 意見交換

【委員】

・青陵祭の時にPTAの方々と、同窓生という立場でお手伝いをした。私自身も楽しかったので、またお手伝いしたいと思いますし、協議会の委員の方でも、できる範囲内で関わっていただけたらなと思っている。

【委員】

・自分が関わったところで言うと、吹奏楽部の演奏の機会を作った。その後も金ヶ崎町の社協さんから演奏する機会の連絡が来ていたりしている。コンパクトさが動きやすいのかなと思った。色々な演奏機会を作ればいいなと思っているので、引き続きやっていきたいと思う。

・もう無くなる学校だからみたいな考え方を先生も生徒も、ネガティブにならずポジティブに捉えて、

できることがたくさんあるはず。中学校ではちょっと制限が多かったかもしれないけど、高校で金ヶ崎高校だからこそ自由にやれる、みたいな期待感を含めて、生徒が過ごせればいいなと思っている。入学したことがネガティブに聞こえないように、羨ましがられるぐらいの取り組みができるといいなと思っている。

- ・今日の中間発表について。自分も探究は、今年で4年目となり、毎年ちょっとずつアップデートしながらやってきた。今年は、グループの数が少なく、その分、各グループに対する人数はちょっと多めだなかったというのがあった。だから、最初は議論がまとまり切らないというところで、難しさを感じていた。今年の2年生に関しては昨年の1年生のうちにマイプロのプロジェクト発表に出た生徒もいて、先輩の姿を結構見ているような印象があった。だからこそ探究になったら、自分たちでアクションを起こし、結構動いているグループが多かった。中間発表の時点でこのアクションが1個あるっていうのは例年に比べると多いかなと思っていた。一方で、動いてからそれを振り返っていくみたいなのは、まだ改善できる場所かなと思う。発表に関してはすごくレベルが上がっているなと思っていた。

【委員】

- ・中間発表は用事があり参加できなかったの、最終発表には参加したい。

【委員】

- ・中間発表に関しては、用事があり、最後の方しか見ていない。テキパキと話して、みんなが考えないようなことをスパスパと言っている。校則に関する探究の発表では、そういう考えもあるのだなと思った。それに対して先生に意見するではないが、躊躇なくちゃんと喋っていたので、成長したかなと見ていた。ただ発表を聞いて、結構しっかりとリサーチして頑張っていると感じた。次回の最終でどうなるのかなっていう楽しみも今日聞こえていたので良かったかなと思う。
- ・人数の少なさや統合の状況を理由に「何もしなくていいか」「人が少ないからこの程度でいいか」と消極的・投げやりになってしまうのはとても嫌だと感じる。
- ・青陵祭での流しそうめんについて、子供たちが「すごい楽しい時間を過ごせた」という声も聞こえてきている。また、最後に企画してあげたい。みんなでハイタッチできるようにしたい。生徒の活動で協力が必要な場面があれば、いつでも駆けつけたいし、ご協力いただければと思う。

(5) その他・連絡事項

■ 次回の開催日について

- ・第3回学校運営協議会は、2月3日（水）、本校会議室での実施を予定。

以上